

# 救急シンポジウム 「高齢者の救急医療と在宅医療を考える」 ～みんなで守ろう！松戸市の救急医療～

日時 平成26年6月24日（火）18：30～20：40（18:00 受付開始）

場所 松戸市民劇場（松戸駅徒歩3分）

5月23日までに当院ホームページ  
（お申込みフォーム）よりお申込み下さい  
<http://aozora-clinic.or.jp/>

定員 300名（参加費無料）

## 第一部：病院からの論点提示

発表者	乾 久美子氏	新東京病院 救急外来看護師長
	井土 順子氏	千葉西総合病院 救急外来看護師長
	勝沢 豊氏	新松戸中央総合病院 医療福祉相談室 課長
	桜井 裕之氏	東葛クリニック病院 地域医療連携室 ソーシャルワーカー
	小川 晴久氏	東葛クリニック病院 栄養部 管理栄養士
	山田 朱里氏	松戸市立病院 医療福祉相談室 ソーシャルワーカー

基調講演 吉岡 伴樹氏 東松戸病院 副院長

## 第二部：多職種による討議

シンポジスト	押尾 昌典氏	松戸市消防局 救急課主幹
	梶原 栄治氏	特別養護老人ホームひまわりの丘 理事長
	村上 美恵子氏	松戸市介護支援専門員協議会 代表
	吉岡 伴樹氏	東松戸病院 副院長
	和座 一弘氏	松戸市医師会 副会長

座長 川越 正平氏 あおぞら診療所 院長（五十音順）

## 論点

- 1) 情報共有：病歴や背景、これまでの身体状況などについての情報共有
- 2) 判断基準：救急搬送すべき状態かどうかについての現場の判断
- 3) 意思決定：どこまでの医療を希望するのかについてのリビングウィル
- 4) 予防的な手立て：急病が生じる前の予防策や在宅医療としてできる対応
- 5) 入院後の後方支援：在宅医療や後方支援機能を担う病院が果たすべき役割
- 6) その他の課題：精神疾患患者や死亡確認のための搬送などの重要各論

